

❄️ 広報 ❄️

いちき串木野

二十歳を祝う、特別なこの日

R7. 1. 20 発行

1

vol. 231



いちき串木野市公式LINE

イベント情報など配信中！ぜひご登録ください





二十歳の集い開催 ～感謝と決意を胸に～

1月3日、いちきアクアホールにて令和7年二十歳の集いが行われました。式には、今年度二十歳を迎える201名が参加しました。会場では、就学、就職などで、中々会うことのできなかった友人との久しぶりの再会を喜ぶ姿や大人になった友人を見て、驚く姿など微笑ましい光景が見られました。



二十歳の集い実行委員

誓いの言葉 代表 吉住 愛実



本日は、私たちのためにこのような盛大な式を催してくださり、誠にありがとうございます。私は今大学の児童学科で、保育士資格と小学校教員免許を取得するために日々励んでいます。今まで、一番近くで自分たちの成長を支えてくれた、先生。そのような先生に出会い、自分も先生になりたいと思いました。おそらく、今後の人生で、いくつもの壁にぶつかると思いますが目標を見失わず、向上心を持って突き進みたいです。これまでの人生を振り返って、家族や友人などたくさんの方々の支えにより、無事に20歳を迎えることができました。どうか、これからも温かい目でご指導くださいますようお願い申し上げます。

二十歳の決意 ～これまでの感謝を添えて～

「将来の宣誓」 久保 蓮佳



まずは二十歳を無事に迎えられたこと、私に関わってくださったすべての方に心から感謝申し上げます。

20年という期間を振り返ってみると、非常に幸せなものでした。

一場面ずつ切り取っていくと、苦しかったり大変だった時もありましたが、それ以上に家族や友人に恵まれた良き人生を送れました。

私は昔から老後、家庭菜園を営みながらゆっくり過ごせる生活を夢見ていました。そのため大学で、人脈、資本、知識を身に付け、苦手なことや限界に挑戦し続けることを目標としております。

将来世代といわれてきた私たちはついに社会で働く現役世代へと階段を上り、日本社会を担うときになりました。期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後も温かく私たちを見守ってください。

「責任感に勝つ」 岩元 光哉



本日は、20歳を迎えた私たちのためにこのような盛大な式を挙げていただき、大変ありがとうございました。

これまで、両親や友人、多くの先生方の支えによって私は今を生

きているといっても過言ではありません。一人一人に伝えたいです、愛していると。

私は、20歳になったことを誇らしく思うと同時に責任感を強く感じています。責任感痛感。これからの未来を担う者としての自覚を持ち、責任ある社会人としての決意を心に刻みながら日々を過ごしていきたいです。

これまで私たちを支えて、手を差し伸べていただいたすべての方々へ感謝し、地域に貢献していきたいと思います。そして、周りの方々へ恩返しができるように日々精進していきます。

「予定調和」 萬福 竜之介



自分はお笑いタレントになりたいくて専門学校に通い、色々なことを学びました。ですが、正直なところタレントになって稼いでいくのはとても難しいことだと思っています。それ

でも、卒業した今諦めずに夢を追い続けています。

そして20歳になると同時にもう子供ではないということを自覚し、する事一つ一つに責任を持って行動していきたいと思います。特に親にはとても感謝しているので、忙しい時でも親孝行を忘れず、苦勞かけないようにしたいです。時には友達とも集まって遊んだりもしたいです。後いずれは結婚したいと思います。

今後の目標は、夢物語で終わらぬよう沢山努力して、とりあえずは日本で二番目ぐらいの有名なタレントになれるよう頑張りたいと思います。

「二十歳の決意」 米倉 愛菜



私は、これからの人生で、「自立」と「挑戦」を大切にしていきたいと思います。

まず、「自立」についてです。これまで私は家族や周りの方々に支えられ、多くのことを

学びながら成長してきました。二十歳を迎えた今、自分の言動に責任を持ち、困難な状況にも自分自身で立ち向かえる強さを身につけたいと思います。そして、感謝の気持ちを忘れず、支えられる側から支える側へと成長していきたいです。

次に、「挑戦」です。これから社会に出る私たちにとって、変化の多い時代は不安も大きいですが、その中で新しいことに積極的に挑戦する勇氣を持ち続けたいと考えています。失敗を恐れず、多くの経験を重ねることで自分の可能性を広げ、未来を切り開いていきたいです。

最後に、大人としての自覚を胸に、一步ずつ確実に成長し、自分らしい人生を築いていけるよう、これからも努力を続けます。

2024いちき串木野市国際交流事業

本市は、サリナス市（アメリカ合衆国カリフォルニア州モンレー郡）と1979年（昭和54年）5月27日に姉妹都市盟約を締結しました。半世紀以上に本市出身者が渡米し、苦難を乗り越えてきた歴史を背景に、姉妹都市盟約を締結して以来、先人の「開拓者魂」を後世に語り継いでいくとともに、更なる交流を深めるため、隔年で学生派遣・受入や、節目毎に親善訪問団の派遣を行うなど、市サリナス市姉妹都市協会が中心となり、これまで友好関係を築いてきました。

今年度は、8月と10月にそれぞれ、学生と親善訪問団の派遣を行いました。来年度は、サリナス市からの学生受入事業を予定しています。当事業に興味のある方は、いちき串木野商工会議所内の当協会事務局（☎32-2049）まで、お問い合わせください。

学生派遣

令和6年8月7日から20日の2週間、本市の中高校生8名と引率者2名がアメリカ合衆国サリナス市に派遣されました。

参加した学生は、ホストファミリーの元で生活したり、現地の高校で体験授業を受けたり、本市からの移民の歴史を学んだり、充実した交流や体験を行いました。



●派遣生インタビュー

石原隆成さん（市来農芸高校1年）

ホストファミリーとの交流を通して、「人は一人ひとり違っていても良い」ということを再認識しました。

個々のアイデンティティを大切にする考え方はとても素敵で、自身の様々な考え方を大きく変えるきっかけになりました。



戸次由梨香さん（川内商工高校3年）

サリナス市での滞在中、現地の方々からのおもてなしや様々な体験をさせてもらいました。大変貴重な時間を過ごすことができました。

これからも英語の勉強や異文化交流を積極的に行っていきたいと思います。



親善訪問団派遣

令和6年10月23日から29日、本市から、中屋市長、中里議長を含む12名の親善訪問団がアメリカ合衆国へ渡航しました。サリナス市への表敬訪問や、45周年記念祝賀会参加で交流を深めるとともに、令和7年10月に開催予定の市制施行20周年記念式典への参加を要請しました。

●関連事業

サリナス市と同様、本市出身者が移住された背景があることや、南カリフォルニアに活動拠点を持つ南加鹿児島県人会（1899年創立）が、創立から125周年を迎えたことから、ロサンゼルス市を訪問し、南加鹿児島県人会創立125周年記念式典に参加しました。



日本人で初めてカリフォルニアの地に降り立ったのは、薩摩藩英国留学生の一員である長沢鼎であると言われています。長沢が北カリフォルニアのサンタローザに入植した1880年から、今年で145周年を迎えます。今こそ、先人達が築き上げてきた歴史を紐解き、足跡を辿ってみてはいかがでしょうか。

本市で取り組んでいる「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの珈琲から蔵元の焼酎まで、心がほっとするおいしいものが身近にある、豊かな食文化を誇るまちです。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝くまちにみんなで育てていきましょう。



まるっとポメロまつり2nd ~地域一丸となったサワーポメロの魅力を丸ごと詰め込んだイベント~

Text & photo Yasutoshi Kami

「サワーポメロの特産品としての価値を再認識してもらいたい。生産者や市民の皆さんにサワーポメロに対する誇りを持ってもらいたい」

そんな想いで昨年『まるっとポメロまつり』プロジェクトが市内事業者を中心に立ち上がりしました。“まるっと”には「地域一丸となる」「サワーポメロを丸ごと楽しんでもらう」といった意味が込められています。

民間主体となり、1月から3月までの期間にわたり、様々な視点でサワーポメロを楽しみ、味わい、体感してもらうイベントになっています。



主催者の宮内淳次さん（菓子処菊屋）は次のように意気込みを語ります。

「民間主体で動くことでスピード感を持ちつつ、かつ柔軟な動きができます。その姿を見てもらい、いちき串木野市が盛り上がっている雰囲気が伝

わって、市内外問わず応援していただく方が増えてほしいという想いで企画を進めてきました」

「コンテンツの一つとして剪定をした枝木や捨ててしまうサワーポメロの皮などを使用して万華鏡を作ったりします。他にも市内の飲食店で廃棄されるコーヒークスや卵の殻といった資源も活用し、地域循環について考えることも目的の一つとして考えています」

始まりはサワーポメロの美味しさの衝撃から<西果樹園 西美香さん>



柑橘農家として50年以上の歴史を誇る『西果樹園』へ結婚を機に県外から嫁ぎ、柑橘と向き合い続けている西美香さん。初めて食べたサワーポメロの味が忘れられないといいます。

「今まで食べたことのない味で“美味しい！”という衝撃を受けました。その衝撃があったからこそ、どんなに大変なことがあっても、愛情を注ぎ栽培し続けられているのだと思います。皮を剥いても手はベタつきませんし、プリプリとした食感が特徴でまた食べたくなるのが魅力です。まるっとポメロまつりをきっかけにサワーポメロの魅力が多くの方に伝わることを期待しています」

マグロとサワーポメロという組み合わせでハードル高き未知の挑戦へ<海鮮まぐろ家 支配人 諏訪田克浩さん>



まるっとポメロまつりでサワーポメロを使った料理を提供する予定の『海鮮まぐろ家』。支配人の諏訪田さんは本市の1事業者として、まちを盛り上げる一助になればという想いで携わっています。

「サワーポメロをメニューとして提供するのはとても挑戦的なことだと思っています。現時点で、まだメニューは決まっていますが、まちを盛り上げ、サワーポメロをいちき串木野市の特産品として県内外の皆さんに認識してもらいたい気持ちで臨んでいます」

地域一丸となった「まるっとポメロまつり」。皆さんも一緒にサワーポメロの魅力を体感しませんか♪
まるっとポメロまつりの情報はInstagramで⇒



これまでのおいしい情報、
コラムの続きは右の二次元
コードからご覧ください。



公式note



9/30 ～11/8 農家留学研修で研修生を受け入れ



いちごハウス木場で、県立農業大学校から研修生を受け入れ、実際の農家の経営や生活、技術を学ぶ体験研修を行いました。

今回は、鹿児島市出身の山内祐貴さんとベトナム出身のロックさんが約40日の研修を行い、山内さんは、「生活面や技術面でも実際の現場を経験し、学ぶことができた」、ロックさんは、「学校と違う様々なやり方で、メリットやデメリットを学べた」と話しました。



いちごハウス木場では、この事業を40年以上続けており、代表の木場俊介さんは「少しでも若者に農業に触れてもらい、現場で学んでほしい。今後も続けていきたい」と話しました。

11/9 中央地区で子ども食堂交流会



中央地区まちづくり協議会は、中央交流センターで、地域の子もたちとその保護者や地域住民などと“子ども食堂”と銘打って交流会を開催しました。

交流会では、保護者や地域の方が前日から煮込んだカレーをみんなで食べて、食後には、読み聞かせグループ「花咲き山」による絵本の読み聞かせがありました。地域の方と子どもたちが交流を図る場となりました。

12/15 第6回未来焼酎 ～十代からの本格焼酎体験～



10代の若者たちがオリジナル焼酎を作る第6回未来焼酎～十代からの本格焼酎体験～が開催されました。

今回は、オリジナル焼酎のネーミングとラベルデザインの検討会を実施しました。好きな言葉や込めたい想い、芋の品種名などから発想を広げて、様々な案を出し合いました。それらを基にデザイナーによって仕上げられるデザイン案を絞り込んで、最終的なデザインを決定します。参加者の想いが詰まった焼酎の完成が楽しみです。

12/22 チルドレンフェスティバル開催！



市民文化センターで小学生から高校生の青少年が主体となり、自分たちで企画・運営するチルドレンフェスティバルが開催されました。

当日は、子どもたちがマーチング・太鼓・演劇・ダンスやバンド演奏など各種に渡って披露し、会場を盛り上げてくれました。

12/13 青パト車“宝くじ号”が贈呈されました



全国防犯協会連合会からいちき串木野地区防犯協会へ、青色回転灯付きパトロール車“宝くじ号”が寄贈されました。

防犯協会長の中屋市長は、「本市でもうそ電話詐欺被害や子ども等への声かけ・つきまとい等の脅威事案が発生していることから、寄贈いただいた“宝くじ号”を活用し、市民の安心・安全を守るためのさらなる防犯パトロール及び市民への広報活動を展開し、“安全で安心して暮らせる明るい社会づくり”に取り組んでいきたい」と話しました。



12/18 うそ電話詐欺被害防止啓発用年賀ハガキ贈呈



いちき串木野地区金融機関防犯協議会から郵便局へうそ電話等詐欺被害防止啓発用年賀ハガキ 1,000 枚が贈呈され、市内の 1000 世帯に届けられました。

昨今、うそ電話詐欺や SNS 型投資詐欺・ロマンス詐欺の被害が全国的に急増し、本市でも被害が確認されています。皆様大切な財産が被害に遭わないよう、ご注意ください。



12/15 第58回 市内バドミントン大会



F アリーナいちき串木野（総合体育館）で第 58 回 市内バドミントン大会が開催され、中学生から大人まで 74 名が参加し、一緒になって心地よい汗をかきました。

●入賞者

クラス	優勝	準優勝
男子 A 級	松崎諒・安武綴心	水口英祐・脇園隆也
男子 B 級	倉津皓也・塚田颯翔	猪之鼻瑞紀・木場和浩
男子 C 級	佐藤文哉・岩元雅之介	下夷陽・知覧行基
女子 A 級	松崎美紀・松崎胡桃	—
女子 B 級	政池はるか・戸次由梨香	下青木美保・猪之鼻千穂
女子 C 級	長井良子・水口桂子	脇園憂衣・上原美咲
混合 A 級	水口英祐・政池はるか	北ノ園博文・松崎美紀
混合 B 級	塚田颯翔・井手迫なみ子	松崎蒼太・水口遥月
混合 C 級	松崎信彦・岡元みゆき	上新剛・長井良子

12/12 社会福祉協議会が全国表彰



社会福祉協議会が、移動販売車「ぐりんぐりん号」の事業について全国表彰され、市長へ報告に訪れました。

「ぐりんぐりん号」は、単に高齢者の買い物支援だけでなく、地域の方々の支え合いの意識を高めて、介護予防につながるが高く評価されました。

社会福祉協議会の湊泊昭子会長は、「よりそう・ささえあう・つながるをモットーに地域住民の皆様に喜んでもらえる社協をめざしたい」と話しました。